



ワイヤレス接続説明書



5GHz 無線LANカード SL-50

この説明書は、本製品のワイヤレスネットワーク接続機能について説明しています。
取扱説明書と併せてご覧ください。



Icom Inc.

本書の構成について
1章：Windows XPの
Service Pack1用

ワイヤレスネットワーク接続を使う

1

もくじ

第1章 ワイヤレスネットワーク接続を使う ————— 1

1-1. Windows XP標準の	
ワイヤレスネットワーク接続を使う	1
■ 検索された無線ネットワーク名を 手動で追加して接続するには	4
■ 検索されない無線ネットワーク名を 新規で追加するには	7
■ 認証モードについて	11
1-2. 本製品の設定ユーティリティーで	
ワイヤレスネットワーク接続する	12
■ Windows XPで、本製品の 設定ユーティリティーを使用するには	12
■ 設定ユーティリティーでワイヤレス接続する	15
■ 認証モードについて	16

本製品が接続されたパソコンの無線伝送エリア内で、本製品と通信可能な無線アクセスポイントやアドホックモードで通信する無線端末を検索して表示します。表示された無線アクセスポイントや無線端末に本製品をワイヤレス接続するには、次の2通りの方法があります。

■ Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(☞ 1-1章)

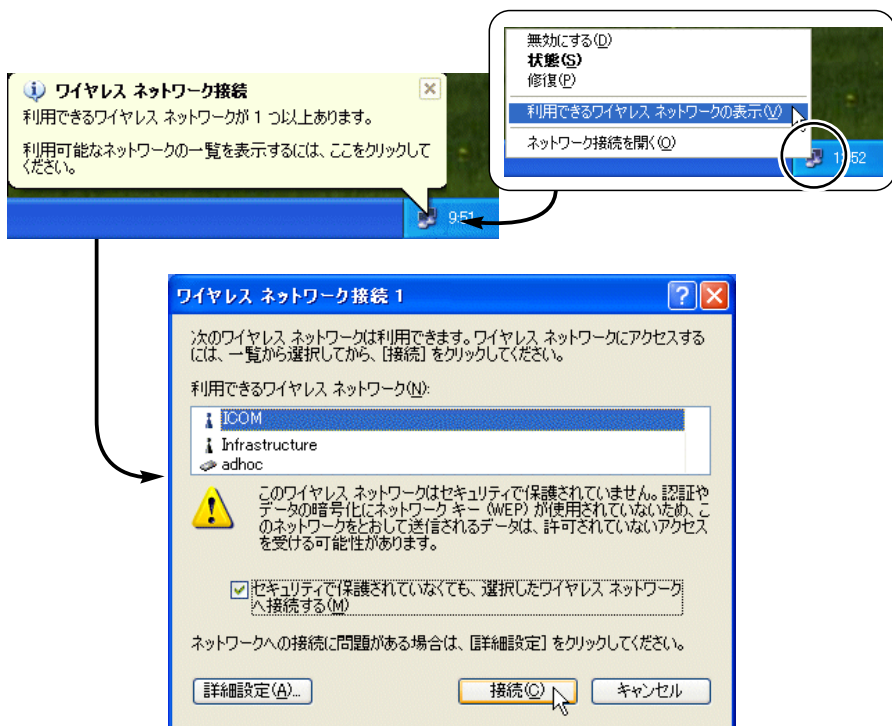
■ 本製品の設定ユーティリティでワイヤレスネットワーク接続する(☞ 1-2章)

※本書で説明する機能を利用するには、本製品のドライバーとユーティリティがVer.1.34以上であることをお確かめください。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】

1. 本製品のドライバーをインストール後、Windows XPのタスクバーに[ネットワーク]アイコンが表示されます。
2. 画面の指示にしたがって操作するか、マウスカーソルを[ネットワーク]アイコン上で右クリックして表示されるメニューから「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」をクリックします。
 - 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面を表示します。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】(つづき)

3. 本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、[利用できるネットワーク(N)]にその機器の無線ネットワーク名(SS ID)が表示されます。
※表示された無線ネットワーク名の左には、通信相手の[無線ネットワークモード]をアイコンで表示します。
※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。
4. 本製品とワイヤレス接続したい無線ネットワーク名をクリックします。
※選んだ無線ネットワーク名の機器に暗号化が設定されている場合は、その機器の暗号化鍵(キー)を16進数(10桁または26桁)かASCII文字(5文字または13文字)で[ネットワークキー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(Q)]に入力します。
5. <接続(C)> をクリックすると、その機器に接続して自動的に画面を閉じます。
 - 選択した機器の[SS ID]や[WEP(キー)]の設定を本製品に自動設定します。
 - ※ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順2.で[利用できるネットワーク(N)]から別の機器を選べます。
 - ※選んだ機器と接続できないときは、タスクバーに手順2.の画面が再度表示されます。
 - ※通信できないときは、暗号化鍵(キー)の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

<暗号化されていないネットワークを選んだとき>

ワイヤレス ネットワーク接続 1

次のワイヤレス ネットワークは利用できます。ワイヤレス ネットワークにアクセスするには、一覧から選択してから、[接続] をクリックしてください。

利用できるワイヤレス ネットワーク(N):

- TCOM
Infrastructure
adhoc

このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。認証やデータの暗号化にネットワーク キー (WEP) が使用されていないため、このネットワークをおとして送信されるデータは、許可されていないアクセスを受ける可能性があります。

セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレス ネットワークに接続する(M)

ネットワークへの接続に問題がある場合は、[詳細設定] をクリックしてください。

詳細設定(A)... 接続(C) キャンセル

1. クリック

2. クリック

3. クリック

【接続の手順】(つづき)

〈暗号化されたネットワークを選んだとき〉

1. クリック 次のワイヤレス ネットワークは利用できます。ワイヤレス ネットワークの一覧から選択してから、[接続]をクリックしてください。

利用できるワイヤレス ネットワーク(N):

- ICOM
- Infrastructure
- adhoc

2. 入力する このワイヤレス ネットワークではネットワーク キー (WEP) の使用が必要です。このネットワークにアクセスするには、キーを入力してから [接続] をクリックしてください。

ネットワーク キー (K): *****

ネットワーク キーの確認入力 (Q): *****

このネットワークで IEEE 802.1X を有効にする (E)

ネットワークへの接続に問題がある場合は、[詳細設定] をクリックしてください。

[詳細設定 (A)...] [接続 (C)] キャンセル

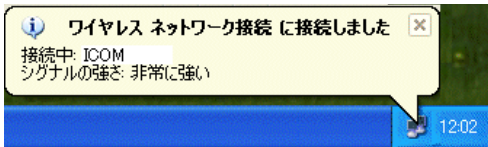
アクセスポイント側で「ANY」を拒否するように設定されている弊社製アクセスポイントは表示されません。

本製品の詳細設定を行うボタンです。

弊社製無線LAN機器の[キージェネレータ]欄に入力する値と間違わないよう注意してください。

4. クリック

6. 接続されると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



本製品の設定は、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[優先するネットワーク(P)]に自動的に追加されます。

追加されると、次回起動時は、[優先するネットワーク(P)]中に表示される機器を上から順番に検索して、接続可能な機器に自動で接続します。

※「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の表示は、〈詳細設定(A)〉ボタンで表示できます。

1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(つづき)

【詳細設定について】

詳細設定(ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ)画面は、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面の〈詳細設定(A)〉をクリックすると表示します。

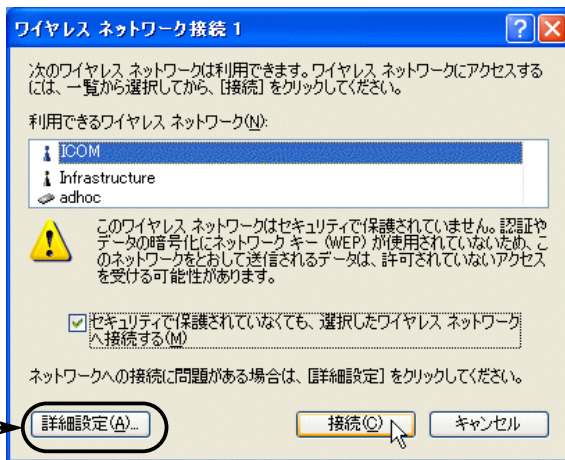
本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して接続したり、検索されない無線ネットワーク名を新規で追加できます。

■ 検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して本製品に接続する手順です。

【追加と接続の手順】

- 1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→ 〈詳細設定(A)〉 の順番に操作します。

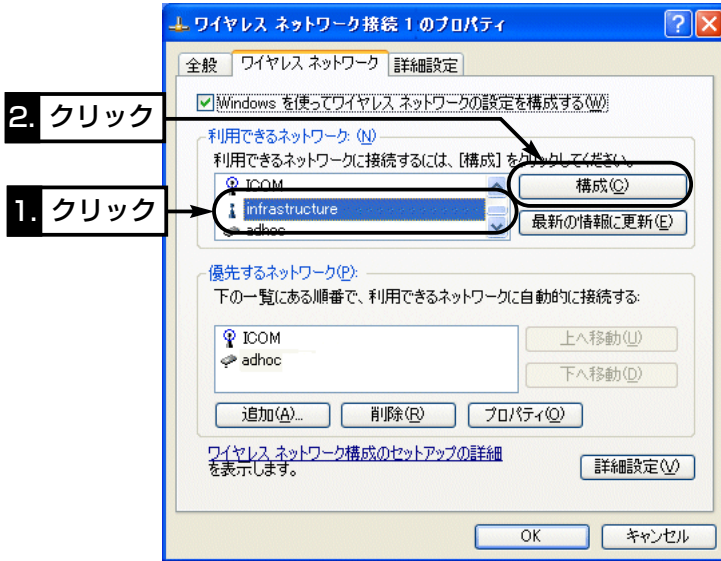


- 2.本製品と通信している無線ネットワーク名のアイコンには、「○」印が表示されますので、それ以外の無線ネットワーク名をクリックします。

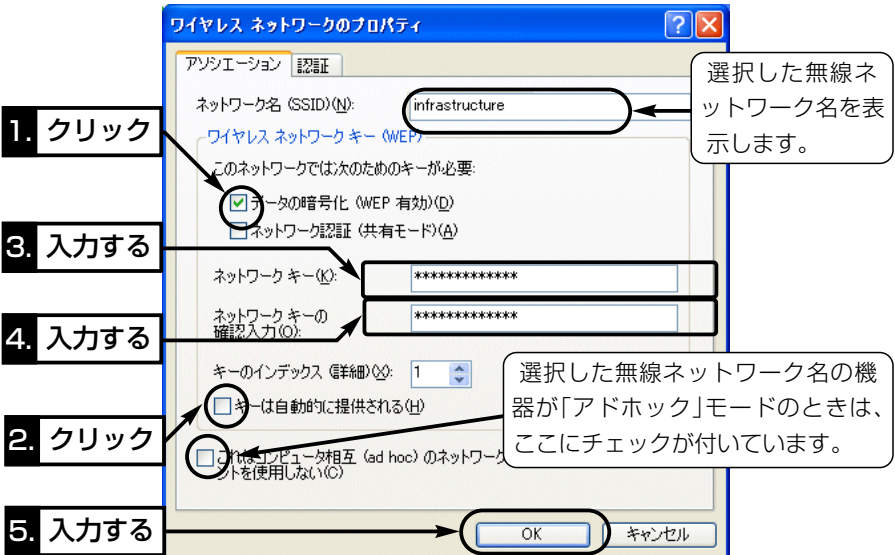
※選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に表示されている場合は、削除しないと追加できません。

【追加と接続の手順】(つづき)

3. <構成(C)>をクリックします。



4. ネットワークキー(WEP)の設定が必要なときは、選択した無線ネットワーク名の機器に設定されたキーと同じものを[ネットワーク キー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(Q)]に入力してから、<OK>をクリックします。



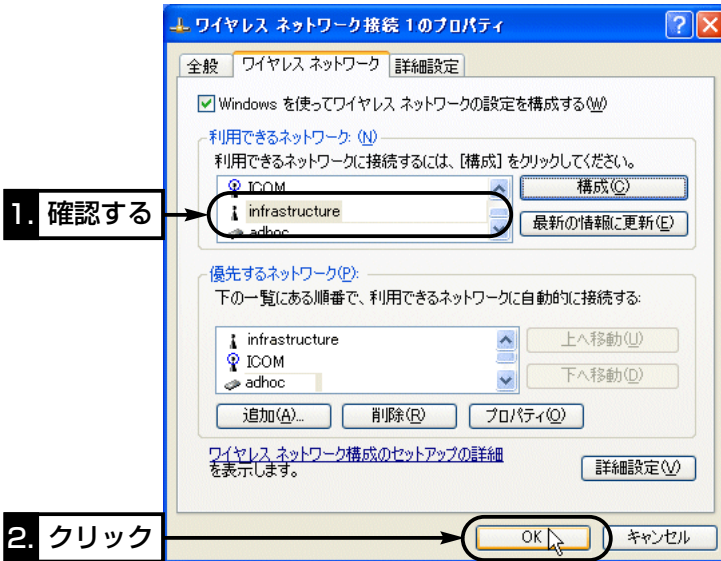
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

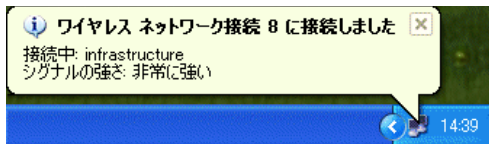
■ 検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

【追加と接続の手順】(つづき)

5. 選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックします。



6. 接続が切り替わると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

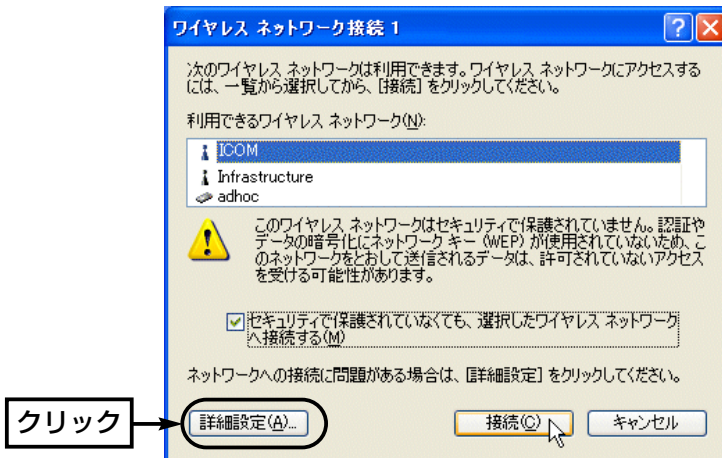
[利用できるネットワーク(N)]の中には表示されていない無線ネットワーク名を [優先するネットワーク(P)]に新規で追加するときの手順です。

次回起動時は、追加した機器を優先的に検索して接続されます。

追加した機器に接続できないときは、[優先するネットワーク(P)]に登録されているほかの機器を検索して接続します。

【追加の手順】

- 1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。



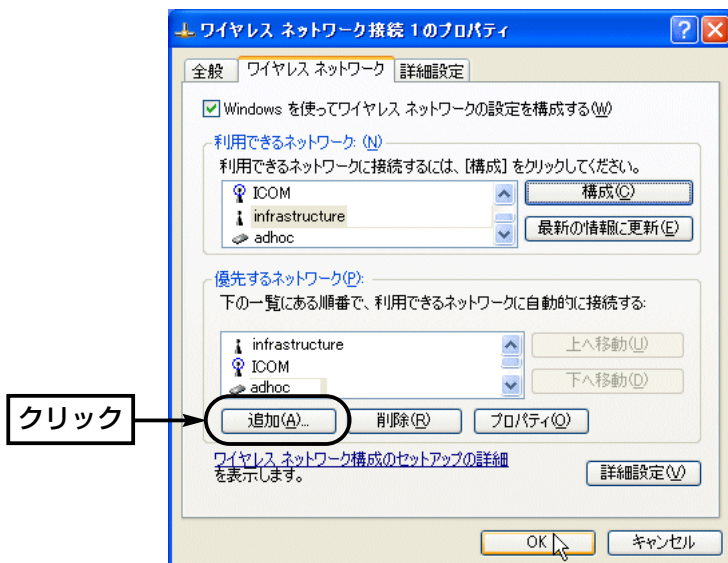
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

2. <追加(A)>をクリックします。



【追加の手順】(つづき)

3.[SS ID]や[WEP(キー)]を接続を予定する機器の設定条件にしたがって、設定します。

※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。

※Windows XPの[キーの長さ(L)]の設定は、[ネットワークキー(K)]の入力に応じて自動選択されます。

[キーの長さ(L)]の設定が「40ビット(10桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:64ビット」に相当、[キーの長さ(L)]の設定が「104ビット(26桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:128ビット」に相当します。

The image shows a screenshot of the 'Wireless Network Properties' dialog box in Windows XP. The dialog is titled 'ワイヤレス ネットワークのプロパティ' and has two tabs: 'アソシエーション' (selected) and '認証'. The 'アソシエーション' tab contains the following fields and options:

- ネットワーク名 (SSID) (N): SL-5000
- ワイヤレス ネットワーク キー (WEP)
 - このネットワークでは次のためのキーが必要:
 - データの暗号化 (WEP 有効) (Q)
 - ネットワーク認証 (共有モード) (A)
- ネットワーク キー (K): [Redacted with asterisks]
- ネットワーク キーの 確認入力 (O): [Redacted with asterisks]
- キーのインデックス (詳細) (I): 1
- キーは自動的に提供される (H)
- この無線コンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークを使用しない (C)

At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

Numbered instructions and callouts are overlaid on the screenshot:

1. 入力する: Points to the SSID field.
2. クリック: Points to the 'データの暗号化 (WEP 有効)' checkbox.
3. クリック: Points to the 'キーは自動的に提供される' checkbox.
4. 入力する: Points to the 'ネットワーク キー (K)' field.
5. 入力する: Points to the 'ネットワーク キーの 確認入力 (O)' field.
6. クリック: Points to the 'OK' button.

Callout boxes provide additional instructions:

- Callout 1: '設定する機器の無線ネットワーク名を入力。' (Enter the wireless network name of the device to be configured.)
- Callout 2: '設定する無線ネットワーク名の機器が「アドホック」モードのときは、ここにチェックを入れます。' (When the device for the wireless network name to be configured is in 'ad hoc' mode, check this box.)

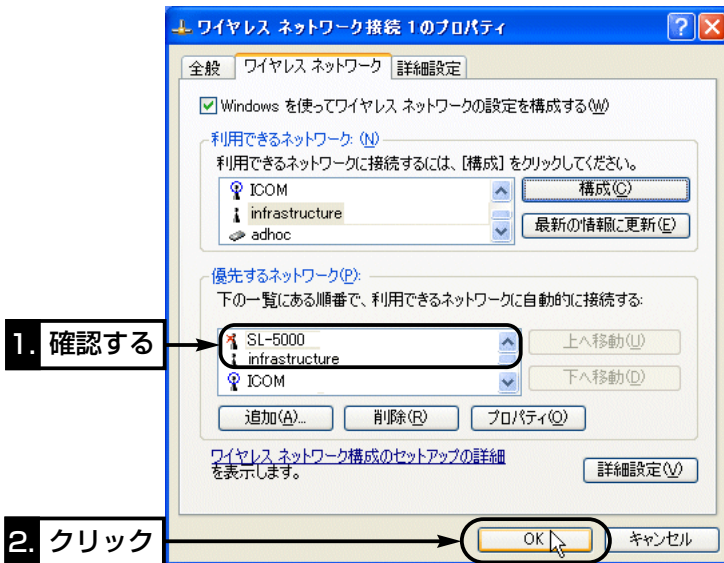
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには
【追加の手順】(つづき)

4. [優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックすると完了です。

※追加された無線ネットワーク名のアイコンに表示される「×」印は、検索できないとき表示され、次回起動時に検出されると「×」印は消えます。

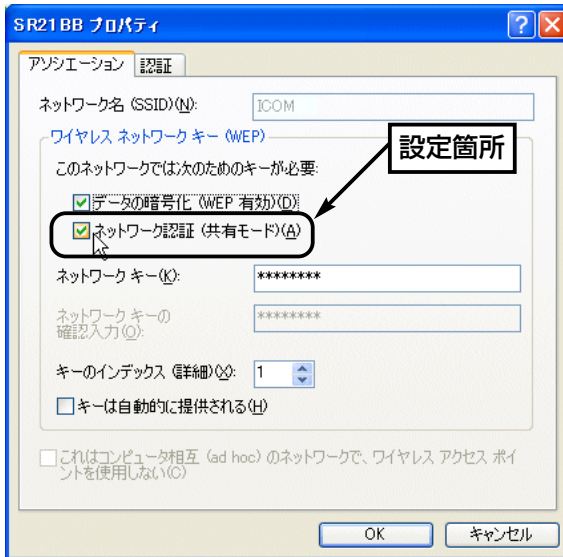


■ 認証モードについて

WEPセキュリティを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[ネットワーク認証(共有モード)(A)]にチェックマークを入れてください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-2. 本製品の設定ユーティリティでワイヤレスネットワーク接続する

Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続(※1-1章)を使用しない場合や、ご使用になるOSがWindows XP以外の場合は、本製品の設定ユーティリティを使用してワイヤレスネットワーク接続できます。

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティを使用するには

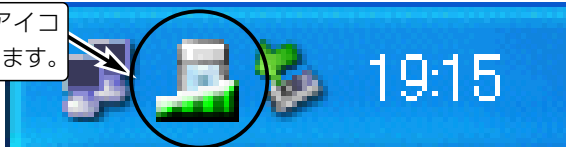
Windows XPをご使用の場合、本製品のドライバーと設定ユーティリティをインストール後は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続から本製品の設定を変更できるようになっています。

下記の手順で設定を変更すると、本製品の設定ユーティリティから本製品の設定ができるようになります。

【変更の手順】

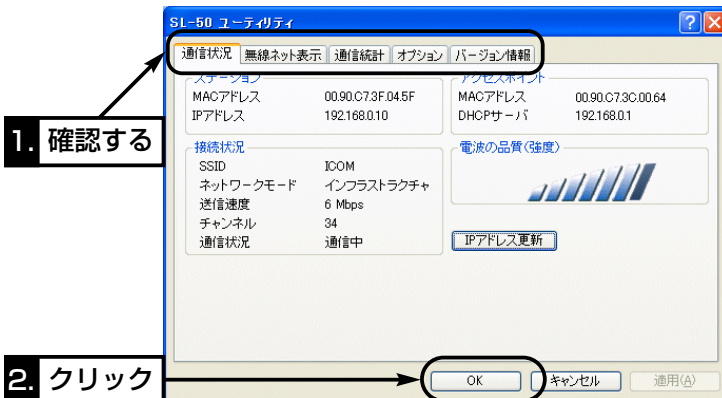
1. マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。

電波の品質(強度)をアイコンの上に4段階表示します。



2. タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。

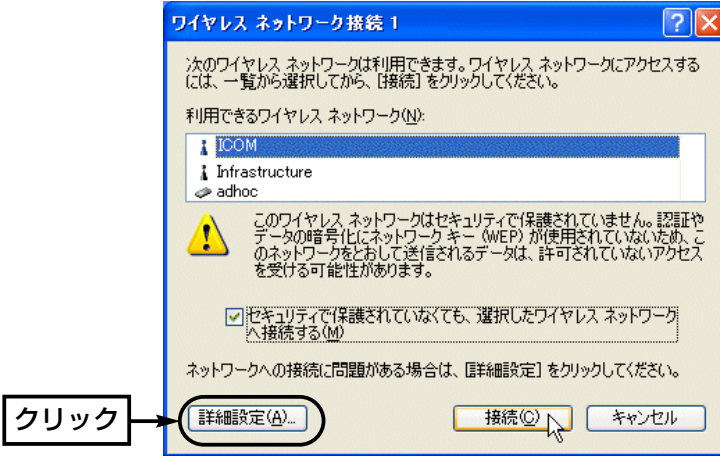
※次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが表示されていない場合は、手順3.で設定を変更してください。



【変更の手順】(つづき)

3.「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で〈詳細設定(A)〉をクリックします。

- 手順4.で記載する画面を表示します。



4.[Windows XPを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する(W)]のチェックボックスをクリックして、チェックマークを外します。

5.〈OK〉 をクリックします。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには
【変更の手順】(つづき)

6. 本製品の設定ユーティリティーを起動しなおします。

次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが追加されていれば、本製品の設定ユーティリティーで設定できます。




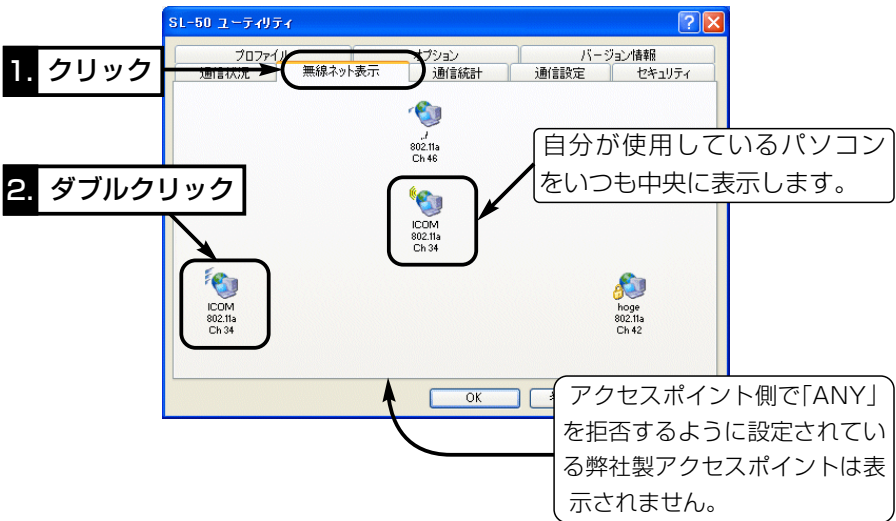
■ 設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

Windows XPを例にワイヤレスネットワーク接続の手順を説明します。

設定ユーティリティーは、ほかのOSについても同じ操作です。

【確認の手順】

- 1.マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。
- 2.タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
- 3.[無線ネット表示]タブをクリックすると、本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、その機器の情報が一覧で表示されます。
- 4.本製品とワイヤレス接続したいアイコン上でダブルクリックします。
※選んだ無線ネットワーク名のアイコンに「」マークが表示されているときは、[セキュリティ]タブで、暗号化を設定してください。
設定しないときは、その機器と接続できません。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ 設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

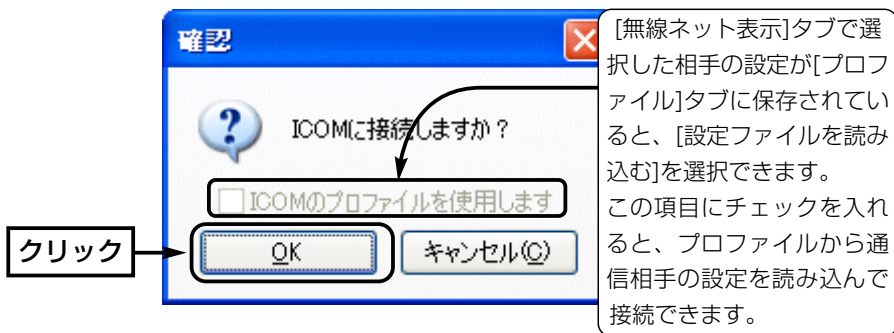
【確認の手順】(つづき)

5. <はい> をクリックします。

- 選択した機器の[SS ID]が本製品に自動設定されます。

※次回起動時は、現在通信中の機器に自動接続されますので、ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順1.~5.の操作をしてください。

※通信できないときは、[暗号化鍵(キー)]の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

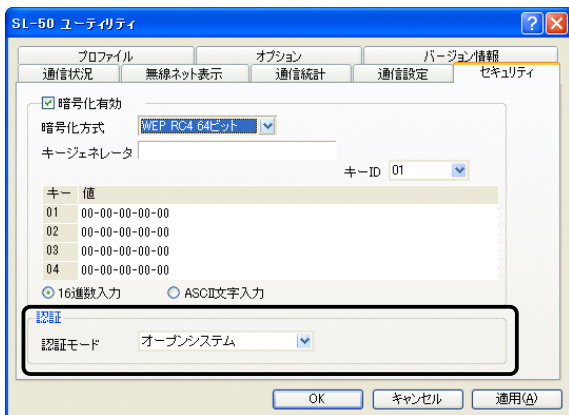


■ 認証モードについて

暗号化セキュリティーを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[セキュリティ]タブの[認証モード]項目で「シェアードキー」が「オート」を選択してください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。



ワイヤレス接続説明書



5GHz 無線LANカード SL-50

この説明書は、本製品のワイヤレスネットワーク接続機能について説明しています。
取扱説明書と併せてご覧ください。



本書の構成について
1章：Windows XP用

ワイヤレスネットワーク接続を使う

1

もくじ

第1章 ワイヤレスネットワーク接続を使う 1

1-1. Windows XP標準の	
ワイヤレスネットワーク接続を使う	1
■ 検索された無線ネットワーク名を 手動で追加して接続するには	4
■ 検索されない無線ネットワーク名を 新規で追加するには	7
■ 認証モードについて	10
1-2. 本製品の設定ユーティリティーで	
ワイヤレスネットワーク接続する	11
■ Windows XPで、本製品の 設定ユーティリティーを使用するには	11
■ 設定ユーティリティーでワイヤレス接続する	14
■ 認証モードについて	15

本製品が接続されたパソコンの無線伝送エリア内で、本製品と通信可能な無線アクセスポイントやアドホックモードで通信する無線端末を検索して表示します。表示された無線アクセスポイントや無線端末に本製品をワイヤレス接続するには、次の2通りの方法があります。

■ Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(☞ 1-1章)

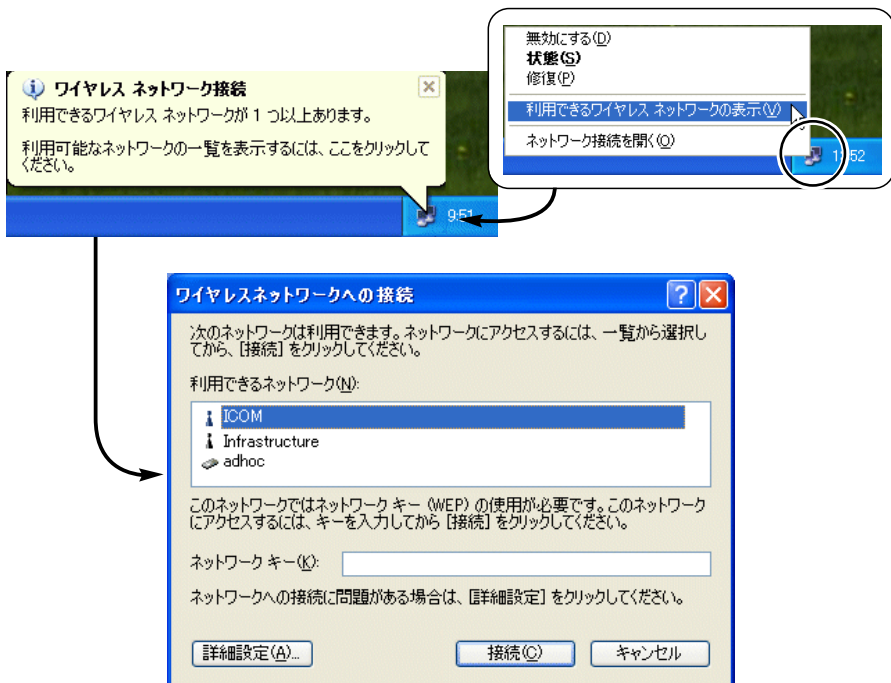
■ 本製品の設定ユーティリティでワイヤレスネットワーク接続する(☞ 1-2章)

※本書で説明する機能を利用するには、本製品のドライバーとユーティリティがVer. 1.34以上であることをお確かめください。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】

1. 本製品のドライバーをインストール後、Windows XPのタスクバーに[ネットワーク]アイコンが表示されます。
2. 画面の指示にしたがって操作するか、マウスカーソルを[ネットワーク]アイコン上で右クリックして表示されるメニューから「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」をクリックします。
 - 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面を表示します。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】(つづき)

3. 本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、[利用できるネットワーク(N)]にその機器の無線ネットワーク名(SS ID)が表示されます。
 - ※表示された無線ネットワーク名の左には、通信相手の[無線ネットワークモード]をアイコンで表示します。
 - ※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。
4. 本製品とワイヤレス接続したい無線ネットワーク名をクリックします。
 - ※選んだ無線ネットワーク名の機器に暗号化が設定されている場合は、その機器の暗号化鍵(キー)を16進数(10桁または26桁)かASCII文字(5文字または13文字)で[ネットワークキー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(Q)]に入力します。
5. <接続(C)> をクリックすると、その機器に接続して自動的に画面を閉じます。
 - 選択した機器の[SS ID]や[WEP(キー)]の設定を本製品に自動設定します。
 - ※ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順2.で[利用できるネットワーク(N)]から別の機器を選べます。
 - ※選んだ機器と接続できないときは、タスクバーに手順2.の画面が再度表示されます。
 - ※通信できないときは、暗号化鍵(キー)の入力に間違いがないことを確認してください。
 - また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

【接続の手順】(つづき)

1. クリック → ワイヤレスネットワークへの接続

次のネットワークは利用できません。ネットワークにアクセスする
 ため、[接続]をクリックしてください。

利用できるネットワーク(N):

- ICOM
 - Infrastructure
 - adhoc

2. 入力する → ネットワークキー(K): 1212121212

このネットワークではネットワークキー (WEP) の使用が必要です。このネットワーク
 にアクセスするには、キーを入力してから [接続] をクリックしてください。

ネットワークへの接続に問題がある場合は、[詳細設定] をクリックしてください。

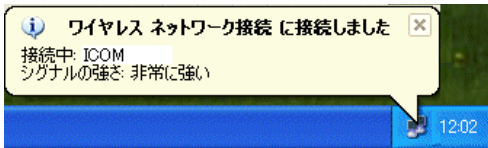
3. クリック → [接続] ボタン

アクセスポイント側で「ANY」
 を拒否するように設定されてい
 る弊社製アクセスポイントは表
 示されません。

本製品の詳細設定を行うボ
 タンです。

弊社製無線LAN機器の[キーエ
 ネレータ]欄に入力する値と間違
 わないように注意してください。

6. 接続されると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



本製品の設定は、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[優先するネットワーク(P)]に自動的に追加されます。

追加されると、次回起動時は、[優先するネットワーク(P)]中に表示される機器を上から順番に検索して、接続可能な機器に自動で接続します。

※「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の表示は、〈詳細設定(A)〉ボタンで表示できます。

1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(つづき)

【詳細設定について】

詳細設定(ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ)画面は、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面の〈詳細設定(A)〉をクリックすると表示します。

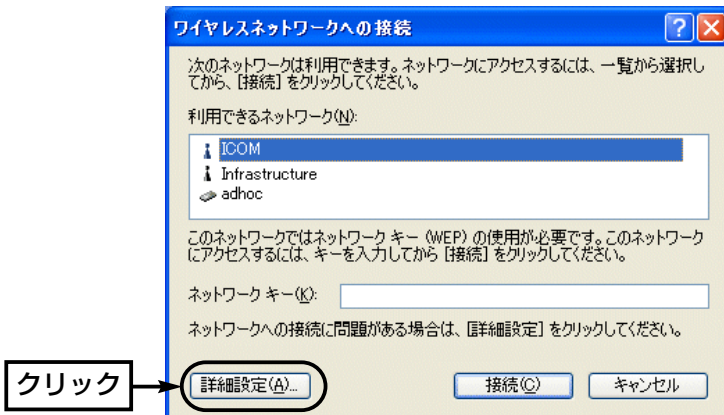
本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して接続したり、検索されない無線ネットワーク名を新規で追加できます。

■ 検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して本製品に接続する手順です。

【追加と接続の手順】

- 1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→ 〈詳細設定(A)〉 の順番に操作します。

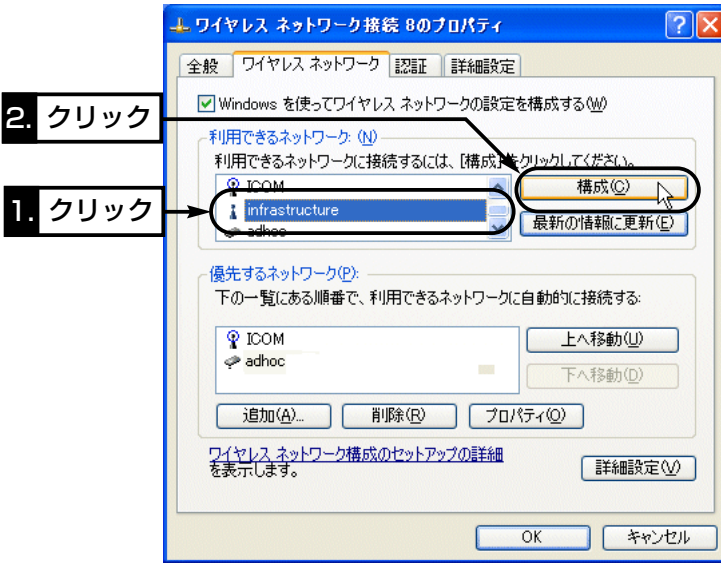


- 2.本製品と通信している無線ネットワーク名のアイコンには、「○」印が表示されますので、それ以外の無線ネットワーク名をクリックします。

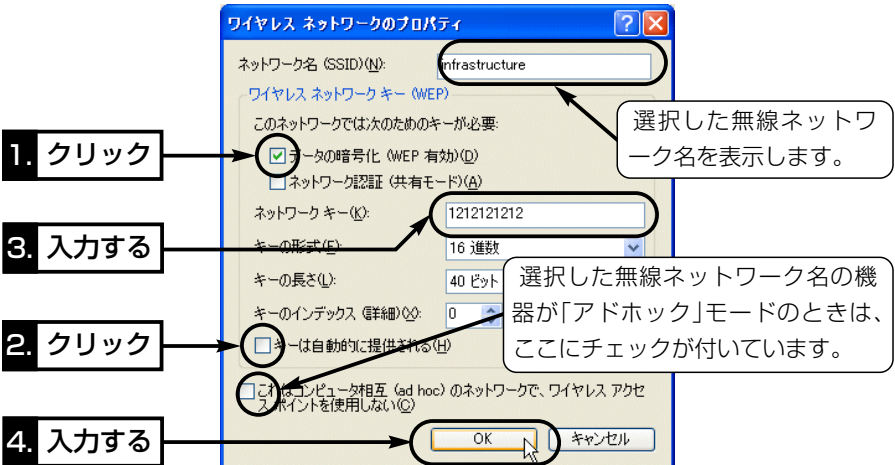
※選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に表示されている場合は、削除しないと追加できません。

【追加と接続の手順】(つづき)

3. <構成(C)>をクリックします。



4. ネットワークキー(WEP)の設定が必要なときは、選択した無線ネットワーク名の機器に設定されたキーと同じものを[ネットワーク キー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(Q)]に入力してから、<OK>をクリックします。



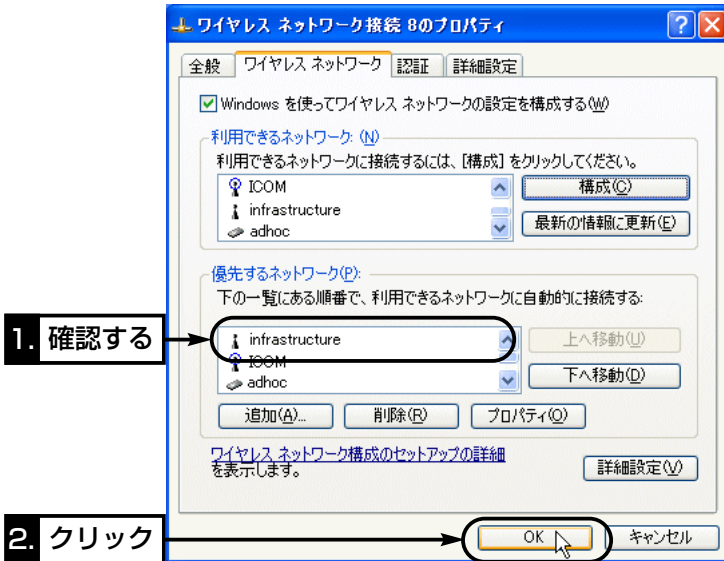
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

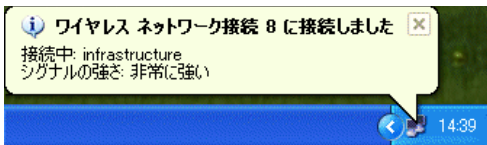
■ 検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

【追加と接続の手順】(つづき)

5. 選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックします。



6. 接続が切り替わると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

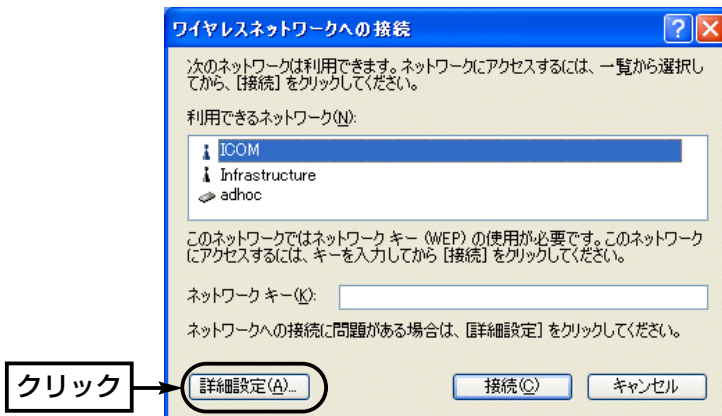
[利用できるネットワーク(N)]の中には表示されていない無線ネットワーク名を [優先するネットワーク(P)]に新規で追加するときの手順です。

次回起動時は、追加した機器を優先的に検索して接続されます。

追加した機器に接続できないときは、[優先するネットワーク(P)]に登録されているほかの機器を検索して接続します。

【追加の手順】

1. マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。



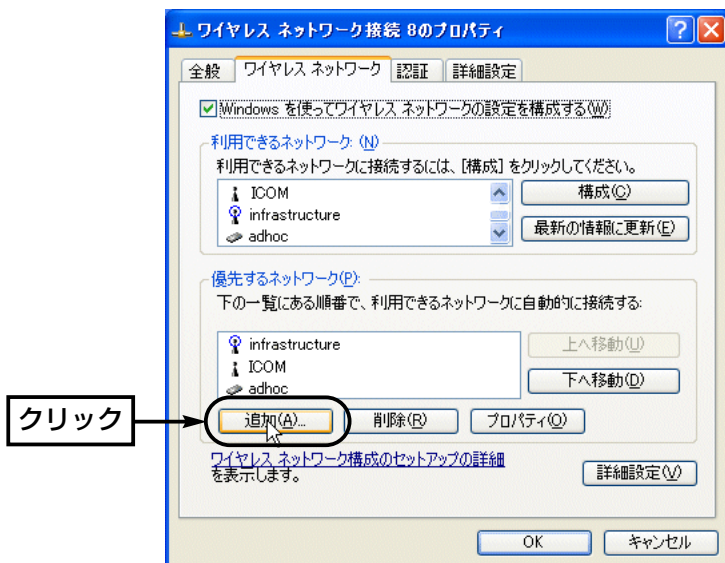
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

2. <追加(A)>をクリックします。



【追加の手順】(つづき)

3. [SS ID]や[WEP(キー)]を接続を予定する機器の設定条件にしたがって、設定します。

※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている [SS ID]と同じ意味として使用しています。

※Windows XPの[キーのインデックス(詳細)(X)]を選択できる範囲は、「0(1)~3(4)」です。カッコ()内は、弊社製ネットワーク機器の[キー ID]を選択できる範囲で、[キーのインデックス(詳細)(X)]と[キー ID]は同じ意味として機能します。

例えば、[キー ID]が「1」のときは、[キーのインデックス(詳細)(X)]を「0」に設定すると同じ設定値として認識します。

※Windows XPの[キーの長さ(L)]の設定は、[ネットワークキー(K)]の入力に応じて自動選択されます。

[キーの長さ(L)]の設定が「40ビット(10桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:64ビット」に相当、[キーの長さ(L)]の設定が「104ビット(26桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:128ビット」に相当します。

The image shows a screenshot of the 'Wireless Network Properties' dialog box in Windows XP. The dialog box has a blue title bar and contains several fields and checkboxes. Five numbered callouts (1-5) point to specific elements: 1. '入力する' (Input) points to the 'ネットワーク名 (SSID)(N)' field containing 'AP3000HS'. 2. 'クリック' (Click) points to the 'このネットワークでは次のためのキーが必要:' section, specifically the checked 'データの暗号化 (WEP 有効)(D)' checkbox. 3. 'クリック' (Click) points to the 'キーのインデックス (詳細)(X)' dropdown menu showing '0'. 4. '入力する' (Input) points to the 'ネットワークキー (K)' field containing '1414141414'. 5. 'クリック' (Click) points to the 'OK' button. There are also three text boxes with arrows pointing to the dialog: one pointing to the SSID field with the text '設定する機器の無線ネットワーク名を入力。', one pointing to the key length dropdown with the text '弊社製と選択範囲が異なりますので、設定には、対比に注意してください。', and one pointing to the 'このネットワークでは次のためのキーが必要:' section with the text '設定する無線ネットワーク名の機器が「アドホック」モードのときは、ここにチェックを入れます。'. The dialog box also includes fields for 'ネットワークキー (K)', 'キーの形式 (F)' (set to '16 進数'), and 'キーの長さ (L)' (set to '40 ビット (10 桁)'). There are also checkboxes for 'ネットワーク認証 (共有モード)(A)', 'キーは自動的に提供される(B)', and 'これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセスポイントを使用しない(C)'.

1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

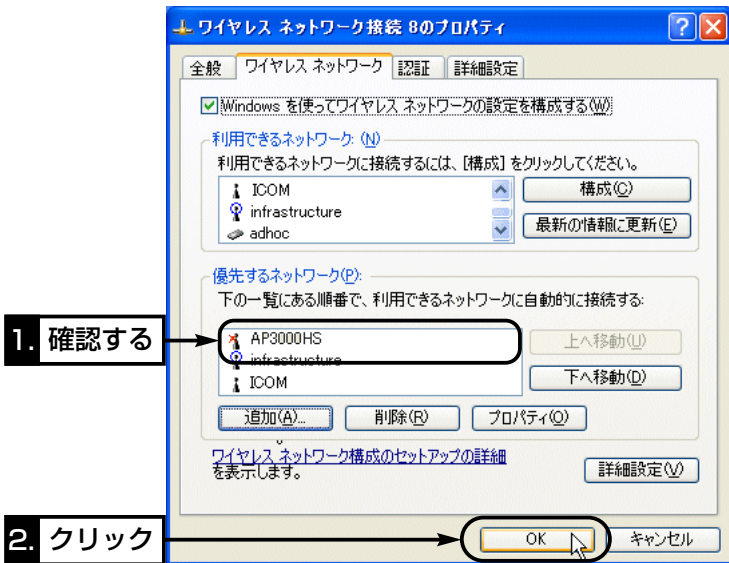
1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■ 検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

4. [優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックすると完了です。

※追加された無線ネットワーク名のアイコンに表示される「×」印は、検索できないとき表示され、次回起動時に検出されると「×」印は消えます。

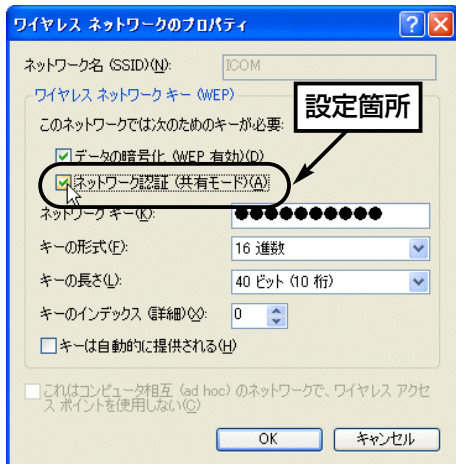


■ 認証モードについて

WEPセキュリティを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

[シールドキー]認証の場合は、[ネットワーク認証(共有モード)(A)]にチェックマークを入れてください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続(※1-1章)を使用しない場合や、ご使用になるOSがWindows XP以外の場合は、本製品の設定ユーティリティーを使用してワイヤレスネットワーク接続できます。

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

Windows XPをご使用の場合、本製品のドライバーと設定ユーティリティーをインストール後は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続から本製品の設定を変更できるようになっています。

下記の手順で設定を変更すると、本製品の設定ユーティリティーから本製品の設定ができるようになります。

【変更の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。



2. タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。

※次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが表示されていない場合は、手順3.で設定を変更してください。



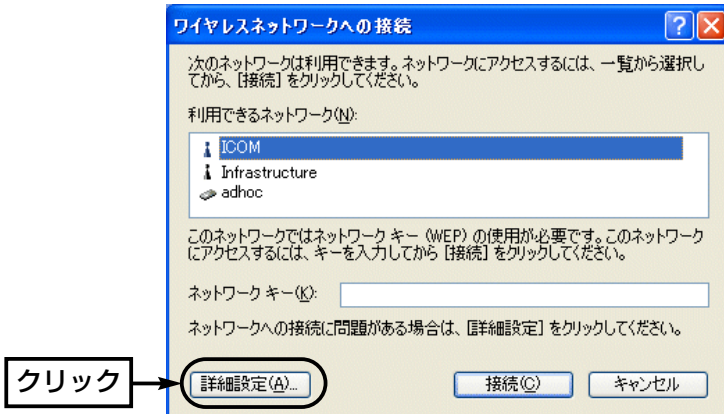
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには
【変更の手順】(つづき)

3. 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で〈詳細設定(A)〉をクリックします。

- 手順4. で記載する画面を表示します。



4. [Windows XPを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する(W)]のチェックボックスをクリックして、チェックマークを外します。

5. 〈OK〉 をクリックします。



■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティを使用するには
【変更の手順】(つづき)

6. 本製品の設定ユーティリティを起動しなおします。

次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが追加されていれば、本製品の設定ユーティリティで設定できます。




1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ 設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

Windows XPを例にワイヤレスネットワーク接続の手順を説明します。
設定ユーティリティーは、ほかのOSについても同じ操作です。

【確認の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。
2. タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
3. [無線ネット表示]タブをクリックすると、本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、その機器の情報が一覧で表示されます。
4. 本製品とワイヤレス接続したいアイコン上でダブルクリックします。
※選んだ無線ネットワーク名のアイコンに「」マークが表示されているときは、[セキュリティ]タブで、暗号化を設定してください。
設定しないときは、その機器と接続できません。



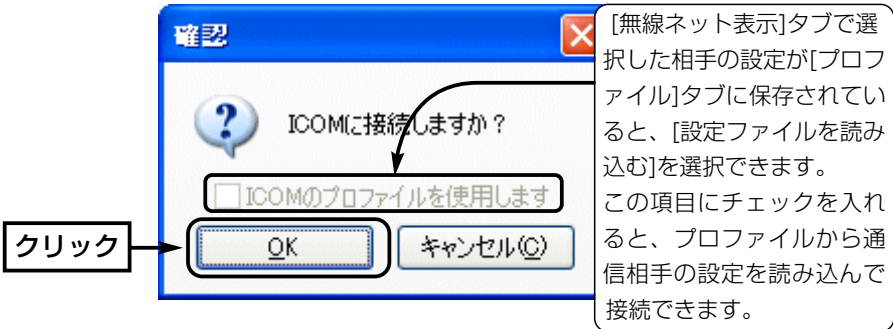
【確認の手順】(つづき)

5. <はい> をクリックします。

- 選択した機器の[SS ID]が本製品に自動設定されます。

※次回起動時は、現在通信中の機器に自動接続されますので、ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順1.~5.の操作をしてください。

※通信できないときは、[暗号化鍵(キー)]の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

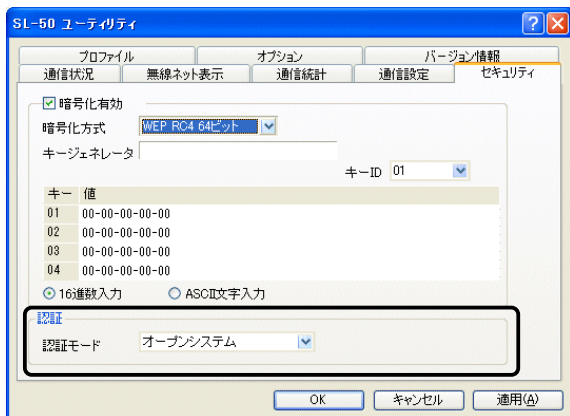


■ 認証モードについて

暗号化セキュリティを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[セキュリティ]タブの[認証モード]項目で「シェアードキー」が「オート」を選択してください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

A-61911-4J

© 2002 Icom Inc.

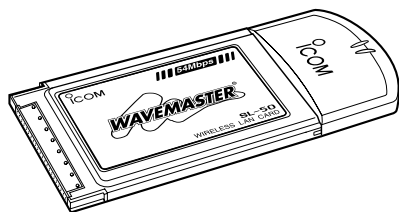
● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

補足説明書



5GHz 無線LANカード SL-50

本章は、取扱説明書に記載されていない
内容と追加機能について説明しています。



設定ユーティリティについて

1

パソコン同士で無線通信する

2

ご参考に

3

もくじ

第1章 設定ユーティリティについて ————— 1

1-1 [通信状況]タブ	1
1-2 [無線ネット表示]タブ	2
1-3 [通信統計]タブ	4
1-4 [通信設定]タブ	6
1-5 [セキュリティ]タブ	9
1-6 [オプション]タブ	13
1-7 [プロファイル]タブ	14
1-8 [バージョン情報]タブ	16

第2章 パソコン同士で無線通信する ————— 17

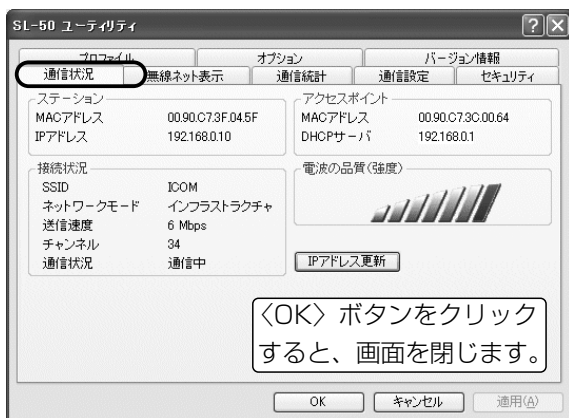
2-1 Windows 98SE/Meの場合	17
■ 本製品の基本設定をする	17
■ IPアドレスを設定する	18
■ 「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定	20
■ 「共有フォルダー」の設定	21
2-2 Windows 2000の場合	22
■ 本製品の基本設定をする	22
■ IPアドレスを設定する	23
■ 「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定	25
■ 「共有フォルダー」の設定	27
■ 「ユーザー登録」の設定	29

第3章 ご参考に ————— 30

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する	30
■ Windows ^{XP} の場合	30
■ Windows 98SE/Meの場合	32
■ Windows 2000の場合	33
3-2 トラブルシューティング	34

1-1 [通信状況]タブ

通信状況の表示やDHCPサーバからIPアドレスを再取得するとき使用します。



■ステーション

本製品のMACアドレスおよびIPアドレスを表示します。

※MACアドレスは、それぞれのネットワーク製品に割り当てられた固有のもので、同じアドレスは存在しません。弊社製アクセスポイントにこのアドレスを登録することで、その他のMACアドレスを持つ無線LANカードからアクセスできないように制限することができます。

■接続状況

現在の設定や通信状態を表示します。「インフラストラクチャ」モードで使用時、通信エリア内に無線アクセスポイントを見つけられないときは、「スキャン中」と表示されます。

■アクセスポイント

「インフラストラクチャ」モードで通信が行われているときは、本製品がアクセスできるアクセスポイント側の情報を表示します。

■電波の品質(強度)

無線アクセスポイントから受信できる電波の強さを表示するエリアです。※「アドホック」モードで使用時は、表示していますが機能しません。

■〈IPアドレス更新〉ボタン

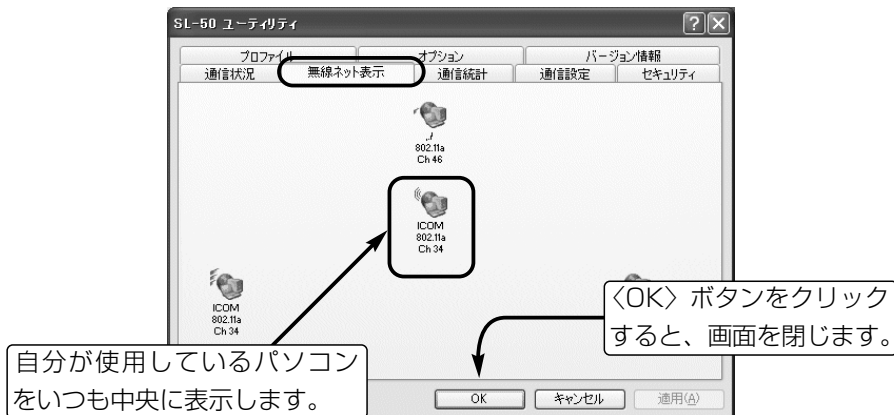
DHCPサーバからIPアドレスを再取得します。ネットワークモードがインフラストラクチャに設定されていて、パソコンがIPアドレスをDHCPサーバから自動的に取得できる状態に設定されている場合だけ機能します。

1 設定ユーティリティについて

1-2 [無線ネット表示]タブ

無線LAN機器の状態をモニターできます。

※説明のため、一部、実際とは表示が異なります。



■表示の見かた

- ◎自分のパソコンを中心として、無線伝送エリア内で通信するアクセスポイントや「アドホック」モードの無線ネットワークをアイコンで表示します。
- ◎各アイコンの下には、各無線LAN機器の設定情報や通信状況を表示します。
表示される項目は、上から[SSID]、[802.11 Modes]、[チャンネル]です。
- ◎無線ネットワークと通信するほかのパソコンは、表示されません。
- ◎自分の周りに表示されるアイコンをダブルクリックして、確認の画面で〈OK〉をクリックすると、その無線ネットワークに通信を切り替えます。
なお、次回起動時は、前回起動時の設定で通信します。
Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を本製品の設定に使用している場合、この画面から別の無線ネットワーク機器への切り替えはできません。



1-2 [無線ネット表示]タブ(つづき)

■ 中央に表示されるアイコンの意味



自分のパソコンに設定されている「無線通信モード」によって中央に表示されるアイコンの形が異なります。

[アドホック]モード

[インフラストラクチャ]モード



 <p>自分のパソコンが「アドホック」モードに設定されている場合、常に中央に表示されます。</p>	 <p>自分のパソコンが「インフラストラクチャ」モードに設定されている場合、常に中央に表示されます。</p>
--	---

■ 中央以外の場所に表示されるアイコンの意味

 <p>「アドホック」モードに設定された自分以外のパソコンが存在することを意味します。</p>	 <p>無線伝送エリア内にアクセスポイントが存在することを意味します。</p>
--	--

■ アイコンに表示される記号の意味

通信相手との電波強度やセキュリティーの設定の有無を記号で表示します。

 <p>電波の強さを3段階で表示します。</p>	 <p>セキュリティーが設定されている状態です。</p>
---	---

1 設定ユーティリティについて

1-3 [通信統計]タブ

通信状況をグラフで監視するとき使用します。



■「送信速度」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、データ送信速度を1秒ごとに表示します。

■「受信速度」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、データ受信速度を1秒ごとに表示します。

■「送信エラー」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、1秒間に正しく送信されなかった割合をパーセンテージで表示します。

■「受信エラー」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、1秒間に受信したパケットの中で誤りがある割合をパーセンテージで表示します。

■「表示レベル」ツマミ

マウスでツマミをドラッグすると、ツマミが上下にスライドして縦軸の表示レベルを変更できます。

■ 〈診断停止〉 ボタン

診断結果を表示するグラフ描画を停止するボタンです。

■ 〈診断再開〉 ボタン

診断結果を表示するグラフ描画を再開するボタンです。(※診断を停止させると、表示します。)

■ 〈統計リセット〉 ボタン

描画中のグラフを消去して、再度描画を開始するボタンです。

1 設定ユーティリティについて

1-4 [通信設定]タブ

無線通信機能の設定をするとき使用します。



■ ネットワーク設定

本製品の通信形態と無線ネットワーク名を設定します。

- **通信形態** (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

「インフラストラクチャ」：アクセスポイントと無線通信するとき

「アドホック」：ほかのパソコンと無線で直接通信するとき

- **SSID** (出荷時の設定：空白)

通信相手と同じグループとして識別するための無線ネットワーク名です。

優先的に接続したい無線LAN機器の[SSID]を設定します。

[SSID]を出荷時の設定(空白)で使用したときは、通信環境の良い方へ自動的に接続されます。

本製品を起動時、この[SSID]の設定がほかの無線LAN機器と異なると通信できません。

※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

※[SSID]の設定が空白(出荷時の設定)のときは、従来の無線LANカードで「ANY」と設定したときと同じで、どんな[SSID]が無線ネットワーク機器に設定されていても、暗号化が設定されていないとアクセスできます。

※本製品の場合、「ANY」と設定したときは、「ANY」と設定された無線アクセスポイントと通信できます。

■ 802.11 Modes

本製品で使用する無線LAN規格(802.11a)の設定です。

[802.11a]は、5.2GHz帯の通信周波数を利用して、最高54Mbpsの送信速度で通信する規格で、この設定を変更することはできません。

■ 通信設定

● チャンネル

本機が「アドホック」モードの場合、相手からの接続要求に対して、本機で設定したチャンネルで通信します。

また、自分から接続要求をするときは、相手のチャンネルに自動設定されます。「CH34/CH38/CH42/CH46」の中から選択します。

(出荷時の設定：CH34(5170MHz))

本機が「インフラストラクチャ」モードの場合、無線アクセスポイントに設定されたチャンネルで通信しますので、本機ではチャンネル設定できません。

● 送信速度

(出荷時の設定：自動)

環境の変化などで通信が不安定な場合は、「自動」を設定すると通信が続行可能な速度に自動で切り替わります。

[802.11a]で固定の場合は、「6/9/12/18/24/36/48/54」Mbpsの中から選択します。

[802.11b]は、本製品とは異なる無線LAN規格なので、設定できません。

● Rts/Ctsスレッシュホールド

(出荷時の設定：無し)

「500/1000」バイトを設定すると、「隠れ端末」(☞次ページ参照)の影響で起こる通信速度の低下を防止できます。

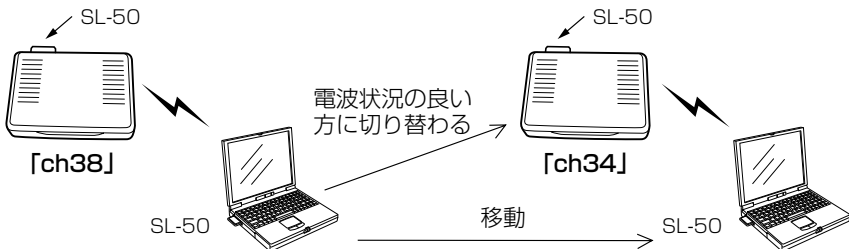
1 設定ユーティリティについて

1-4 [通信設定]タブ(つづき)

■ ローミング

「ローミング」とは、本製品を装着するパソコンを移動させても、自動的に電波状況のよい無線アクセスポイントに切り替えながら通信することです。

- **スマートローミング** (出荷時の設定：/スマートローミングを使用する)
スマートローミングを使用すると、チャンネルを定期的にスキャンさせることにより、電波状況のよい無線アクセスポイントへの切り替えが遅れることなく確実に行えます。(※「インフラストラクチャ」モード設定時、設定可能)

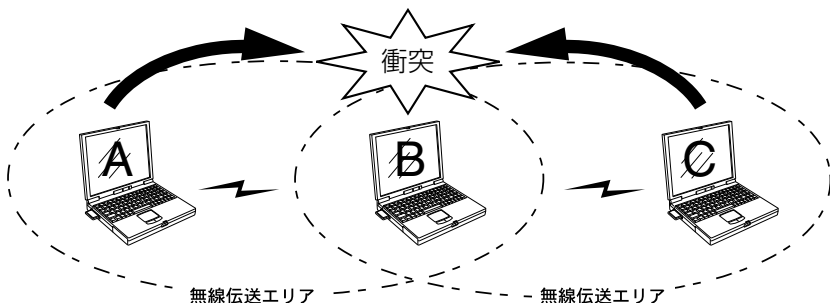


■ 隠れ端末とは

図のように、それぞれが無線端末[B]と通信できても、互いが直接通信できない無線端末[A]-[C]同士([A]に対して[C]、[C]に対して[A])のことを隠れ端末と呼びます。

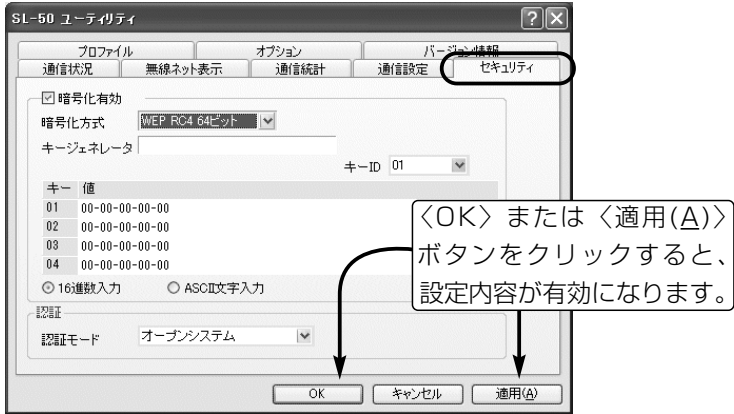
通信の衝突を防止するには、送信要求(Rts)信号を受信した無線端末[B]が、無線伝送エリア内にある無線端末[A]および[C]に送信可能(Cts)信号を送り返すことで、Rts信号を送信していない無線端末に無線端末[B]が隠れ端末と通信中であることを認識させます。

これにより、Rts信号を送信していない無線端末[A]または[C]は、無線端末[B]へのアクセスを自制して、通信の衝突を防止できます。



1-5 [セキュリティ]タブ

暗号化を設定するとき使用します。



■ 暗号化有効

[暗号化有効]のチェックボックスにチェックを入れると、送信データの暗号化が有効になります。
(出荷時の設定：□/暗号化無効)

■ 暗号化方式

[WEP RC4]と[OCB AES]の2通りあり、その方式と鍵(キー)のビット数を選択します。
(出荷時の設定：WEP RC4 128ビット)

暗号化方式とビット数が通信相手と同じでないと通信できません。

[WEP RC4]は、64/128/152ビットの中から選択でき、[OCB AES]は、128ビットを選択できます。

※暗号化認証(オープンシステム/シェアードキー)は、自動認識します。

- WEP RC4：一般に無線LANで使用されているWEPセキュリティと呼ばれる暗号化方式で、RC4(Rivest Cipher 4)アルゴリズムをベースに構成されています。

暗号化するデータのブロック長が8ビットで、暗号化鍵(キー)の長さ(64/128/152ビット)を選択できますが、上位24ビットは鍵をランダムに発生させていますので任意に設定できません。

1 設定ユーティリティについて

1-5 [セキュリティ]タブ

■ 暗号化方式(つづき)

- OCB AES：[WEP RC4]より強力な次世代暗号化方式です。
暗号化するデータのブロック長が128ビットで、暗号化鍵(キー)の長も128ビットです。
すべてのビットに対して任意に鍵(キー)を設定できます。

■ キージェネレーター

暗号化および復号に使う鍵(キー)を生成するための文字列を入力します。

入力は、大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号を半角32文字以内で入力します。

キージェネレーターから生成されたキーは、[値]テキストボックスに表示されます。

※「ASCII文字入力」が設定されているときは、入力できません。

※通信の対象となる相手間で同じ文字列が設定されていると通信できます。

■ キーID

暗号化に使用するキー番号(01～04)を選択します。 (出荷時の設定：01)

選択したキー番号のテキストボックスに入力された値が暗号化鍵として使用されます。

■ 値

キージェネレーターから生成された鍵(キー)を表示します。


また、このテキストボックスに直接キーを入力できます。

※通信の対象となる相手間で同じキーが設定されていると通信できます。

■ 16進数入力/ASCII文字入力

鍵(キー)の[値]をテキストボックスに直接入力するしかたを選択します。

(出荷時の設定：16進数入力)

入力内容を〈適用(A)〉ボタンで登録したあとは、「16進数入力」と「ASCII文字入力」を切り替えると両方の設定内容を確認できます。なお、[ASCII文字→16進数変換表](次ページ参照)に対応しない文字を含む場合は、表示されないことがあります。

■ キー値の設定例

「RC4 128(104)」ビットの暗号化方式で、「48-6f-74-73-70-6f-74-41-63-63-65-73-73」と「57-41-56-45-4d-41-53-54-45-52-4c-41-4e」をキーID「2」と「3」のテキストボックスに入力(16進数：26桁)したときの通信例です。

◎キーID「2」のキー値(鍵)が同じなので通信できます。

SL-50側



弊社製無線アクセスポイント

キー-ID 02

キー	値
01	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00
02	48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73
03	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00
04	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

16進数入力 ASCII文字入力

キー-ID 2

キー値

入力モード 16進数 ASCII文字

1 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

2 48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73

3 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

4 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

◎キーID「2」とキーID「3」のキー値(鍵)が同じなので通信できます。

SL-50側



弊社製無線アクセスポイント

キー-ID 03

キー	値
01	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00
02	48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73
03	57-41-56-45-4D-41-53-54-45-52-4C-41-4E
04	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

16進数入力 ASCII文字入力

キー-ID 2

キー値

入力モード 16進数 ASCII文字

1 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

2 48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73

3 57-41-56-45-4D-41-53-54-45-52-4C-41-4E

4 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

◎キーID「2」とキーID「3」のキー値(鍵)が異なるので通信できません。

SL-50側



弊社製無線アクセスポイント

キー-ID 03

キー	値
01	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00
02	57-41-56-45-4D-41-53-54-45-52-4C-41-4E
03	48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73
04	00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

16進数入力 ASCII文字入力

キー-ID 2

キー値

入力モード 16進数 ASCII文字

1 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

2 48-6F-74-73-70-6F-74-41-63-63-65-73-73

3 57-41-56-45-4D-41-53-54-45-52-4C-41-4E

4 00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00

1 設定ユーティリティについて

1-5 [セキュリティ]タブ

■ ASCII文字→16進数変換表

ご使用になる無線LANカードや無線LAN対応のパソコンが両方の入力モードに対応していない場合は、下記の変換表を参考にパソコンに設定するキーを指示してください。

[例]16進数入力で「4153434949」(10桁)を設定している場合、ASCII文字では、「ASCII」(5文字)になります。

ASCII文字 16進数	!	”	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
ASCII文字 16進数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
ASCII文字 16進数	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	J	L	M	N	O
ASCII文字 16進数	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
ASCII文字 16進数	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
ASCII文字 16進数	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

■ 暗号化方式対応表

対応：○ 非対応：×

OCB AES	AES		WEP(RC4)		
128bit	128bit	256bit	64bit	128bit	152bit
○	×	×	○	○	○

■ 認証モード

暗号化を使用する無線LANからのアクセスに対する認証形式を設定します。

※通信相手と認証方式が異なると通信できません。

(出荷時の設定：オープンシステム)

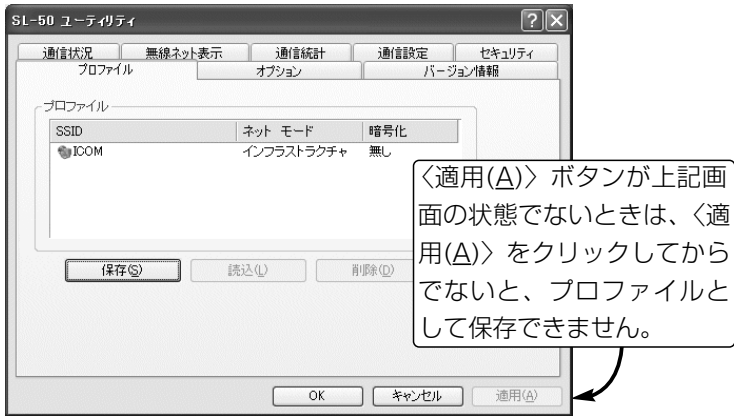
「オープンシステム」： 無線LANのアクセスに対して認証を行いません。

「シェアードキー」： 無線LANのアクセスに対して同じ暗号化鍵(キー)かどうかを認証します。

「オート」： 無線LANのアクセスに対して認証方式を自動で認識します。

1-6 [プロファイル]タブ

[通信設定]タブと[セキュリティ]タブの設定内容を、無線ネットワーク名ごとに保存でき、その一覧を表示します。



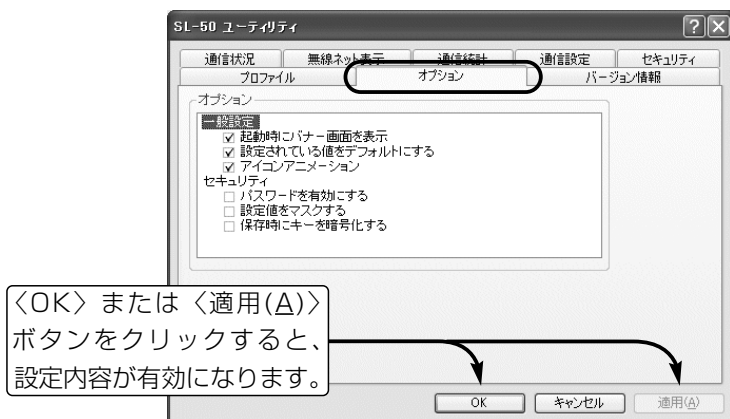
1

- 〈保存〉ボタン** ……… [通信設定]タブと[セキュリティ]タブに設定されている内容をプロファイルとして保存します。
 ※すでに保存されているプロファイルの無線ネットワーク名と同じ場合は、上書きされます。
 ※〈適用(A)〉ボタンは、[通信設定]タブで設定したとき操作が有効になります。
- 〈読込〉ボタン** ……… 一覧からクリックして選択された無線ネットワーク名のプロファイルを、[通信設定]タブと[セキュリティ]タブに読み込みます。
 ※読み込んだプロファイルは、〈適用(A)〉をクリックすることで、本製品の設定に反映されます。
- 〈削除〉ボタン** ……… 一覧からクリックして選択された無線ネットワーク名のプロファイルをパソコンから削除します。

1 設定ユーティリティについて

1-7 [オプション]タブ

設定ユーティリティについての設定です。



■ オプション

チェックボックスにチェックマークを付けると、その項目が有効になります。

● 一般設定

起動時にバナー画面を表示

バナー画面の表示/非表示の設定です。

バナー画面は、設定ユーティリティ起動時に表示します。


(出荷時の設定： / 起動時にバナー画面を表示)

設定されている値をデフォルトにする

通常は出荷時の設定で使用しますが、設定を一時的に変更したいときになど、チェックボックスのチェックマークをはずして設定しておく、パソコンを再起動することで設定ユーティリティで変更する前の値に戻ります。

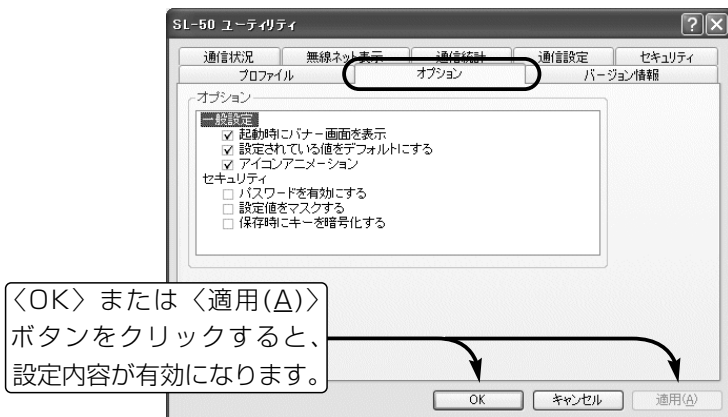
(出荷時の設定： / 設定されている値をデフォルトにする)

アイコンアニメーション

ランプアニメーションやタスクバーのアイコンに  ? X が表示されたとき、その部分を動画で表示します。

(出荷時の設定： / アイコンアニメーションで表示)

1-7 [オプション]タブ(つづき)



■ オプション

チェックボックスにチェックマークを付けると、その項目が有効になります。

● セキュリティ

パスワードを有効にする

設定ユーティリティの設定画面表示をパスワードで保護します。

設定を有効にすると、設定画面を表示する直前にパスワードの入力を求める画面を表示します。

パスワードは、大文字/小文字の区別にご注意して、任意の半角英数字28文字以内で入力します。
(出荷時の設定： /パスワードを無効にする)

設定値をマスクする

[キージェネレータ]と[値]のテキストボックスに入力する内容をマスク(「* (アスタリスク)」で表示)します。
(出荷時の設定： /設定値を表示する)

保存時にキーを暗号化する

設定ユーティリティの設定情報がパソコンに保存されているため、設定ユーティリティで設定した鍵(キー)の[値]が知られるのを防止するために、保存される[値]を暗号化します。(出荷時の設定： /保存時にキーを暗号化しない)

※このオプションを有効にすると、無線LANカードを起動しなおしたときから鍵(キー)の[値]を「00-00-00-00-00」と表示しますが、設定されている値は有効です。

1 設定ユーティリティについて

1-8 [バージョン情報]タブ

本製品の設定ユーティリティやドライバーのバージョンを表示します。



■ ユーティリティ

設定ユーティリティのバージョン情報を表示します。

■ ドライバ

本製品のドライバーのバージョン情報を表示します。

2-1 Windows 98SE/Meの場合

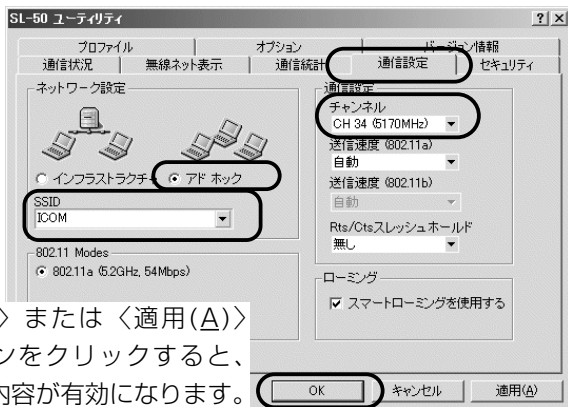
■ 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティを使用して、下記の基本設定項目を設定します。

※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。

【基本設定項目】 パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。

※基本設定が完了したら、次の設定を行ってください。



〈OK〉または〈適用(A)〉
ボタンをクリックすると、
設定内容が有効になります。

無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定しま
す。 (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

SS ID

通信する本製品同士をワークグループとして識別す
るための無線ネットワーク名として、SS IDを設定
します。 (出荷時の設定：空白)
同じワークグループで通信する本製品同士で、この
[SS ID]が異なると通信できません。
※大文字/小文字の区別にご注意して、任意の半角英
数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャ
ンネルです。 (出荷時の設定：チャンネル 34)
無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場
合は、それぞれのワークグループで別々のチャ
ンネルを設定してください。

2 パソコン同士で無線通信する

2-1 Windows 98SE/Meの場合(つづき)

■ IPアドレスを設定する

前ページの設定が完了後、パソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

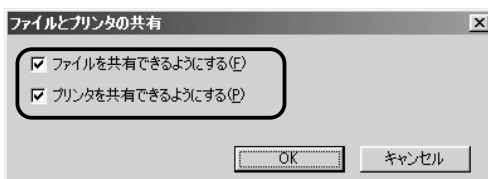
【設定の手順】

- 1.マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[ネットワーク]アイコンの順に操作します。
- 2.下記の画面で「TCP/IP->Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50(CardBus)」→〈プロパティ(R)〉の順にクリックします。

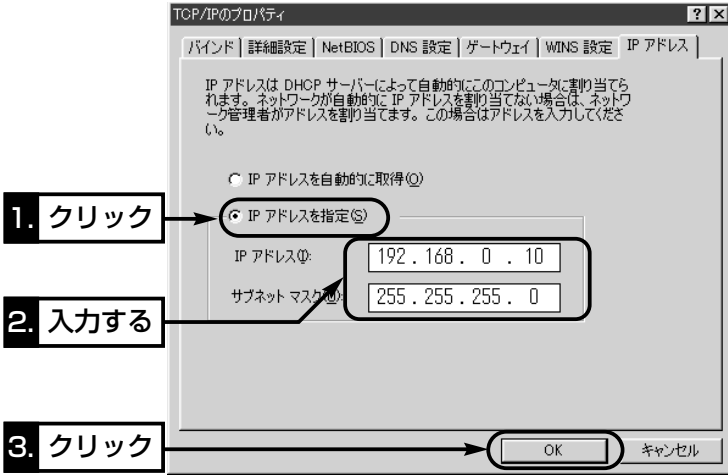


★ファイルとプリンターの共有設定について

ネットワーク上に存在するほかのパソコンとファイルやプリンターを共有する場合は、上記画面の〈ファイルとプリンタの共有(E)〉をクリックして、右の画面の項目にチェックマークを入れておいてください。



3. [IPアドレスを指定(S)]のラジオボタンをクリックして、チェックマークを入れます。 [IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力して、〈OK〉をクリックします。



- 4.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。
再起動後、設定された内容が有効になります。

【IPアドレスの指定について】

- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのIPアドレスは、重複しないように設定してください。
- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのサブネットマスクは、同じ値を設定してください。
- 小規模なネットワーク(253台まで)でご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0~192.168.255.255を使用します。なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、パソコンには、割り当てないでください。(×××:0~255)

3台のパソコンで無線LANを構成するときは、以下のようになります。

- パソコンA : 192.168.0.10(サブネットマスク : 255.255.255.0)
 パソコンB : 192.168.0.11(サブネットマスク : 255.255.255.0)
 パソコンC : 192.168.0.12(サブネットマスク : 255.255.255.0)

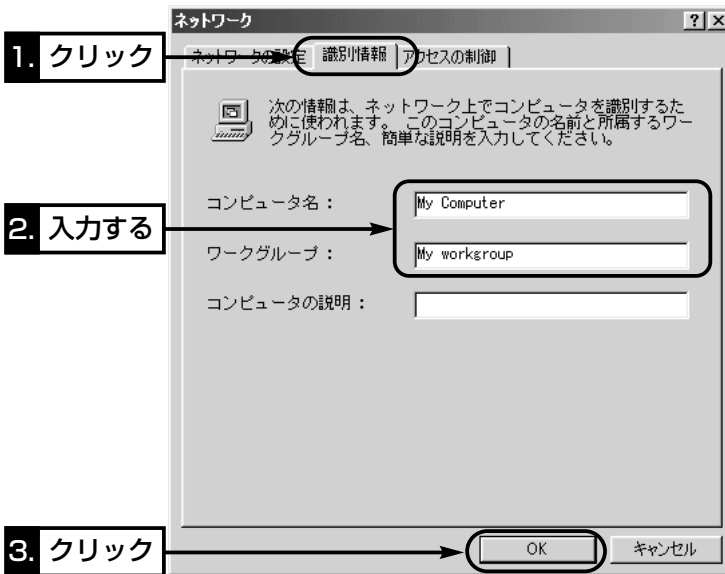
2 パソコン同士で無線通信する

2-1 Windows 98SE/Meの場合(つづき)

■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定

【設定の手順】

- 1.マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[ネットワーク]アイコンの順に操作します。
- 2.[識別情報]タブをクリックして、[コンピュータ名:]、[ワークグループ:]のテキストボックスに情報を入力してから、〈OK〉をクリックします。
入力は、半角15文字以内(任意の英数字)になるようにします。



- 3.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。
再起動をうながすメッセージにしたがって、パソコンを再起動します。

【コンピュータ名:】 ネットワーク上で、パソコンごとに識別用の名前を入力します。なお、同じネットワークグループのパソコンと重複しないように設定してください。

【ワークグループ:】 同じ名前を設定したパソコンが、ネットワーク上で同じネットワークグループとして認識されます。

同じグループ名を通信の対象となるすべてのパソコンに設定してください。
異なる名前を設定すると通信できません。

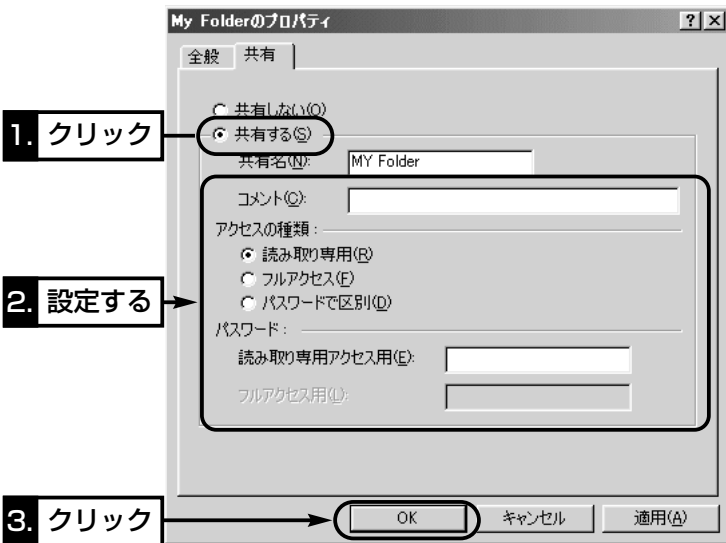
【コンピュータの説明(D):】 必要があれば、任意に入力します。

■「共有フォルダー」の設定

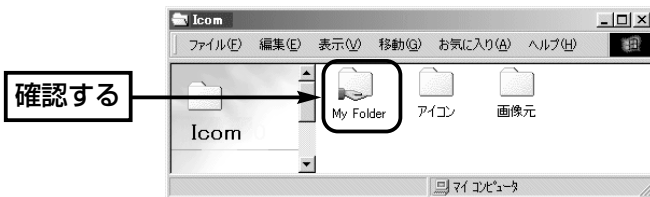
パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

【設定の手順】

1. デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。
2. 共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたショートカットメニューから[共有(H)]をクリックします。
3. [共有する(S)]のラジオボタンをクリックして、[共有名(N):]、[コメント(C):]、[アクセスの種類:]、[パスワード:]などを確認または変更して、〈OK〉をクリックします。



4. 設定したフォルダーのアイコンが、画面のように変化したことを確認します。



2 パソコン同士で無線通信する

2-2 Windows 2000の場合

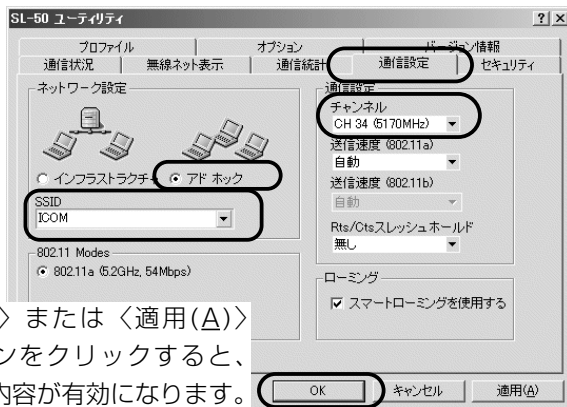
■ 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティを使用して、下記の基本設定項目を設定します。

※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。

【基本設定項目】 パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。

※基本設定が完了したら、次の設定を行ってください。



〈OK〉または〈適用(A)〉
ボタンをクリックすると、
設定内容が有効になります。

無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定しま
す。 (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

SSID

通信する本製品同士をワークグループとして識別す
るための無線ネットワーク名として、SSIDを設定
します。 (出荷時の設定：空白)

同じワークグループで通信する本製品同士で、この
[SSID]が異なると通信できません。

※大文字/小文字の区別にご注意して、任意の半角英
数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャン
ネルです。 (出荷時の設定：チャンネル34)

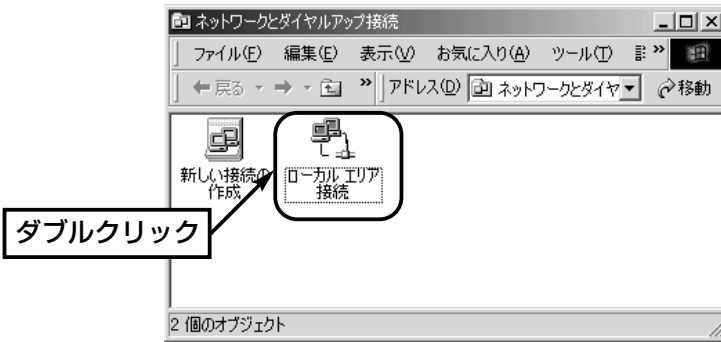
無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場
合は、それぞれのワークグループで別々のチャン
ネルを設定してください。

■ IPアドレスを設定する

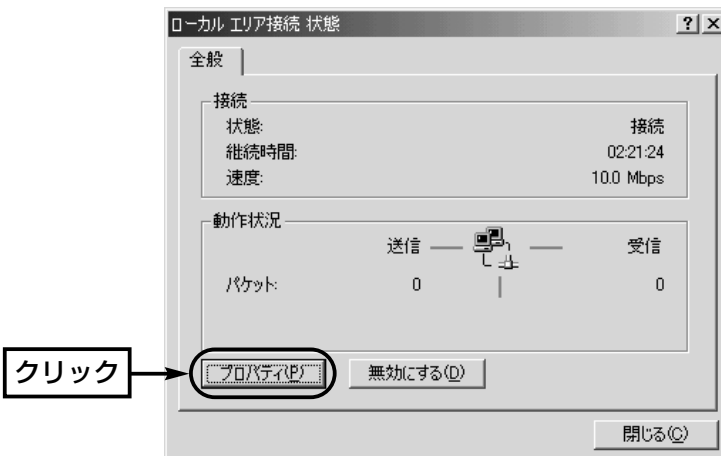
前ページの設定が完了後、パソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

【設定の手順】

1. 設定に使用するパソコンを起動します。
 - 「ログオン」画面を表示します。
2. 管理者権限でログオンします。
3. パソコンが起動したら、マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[ネットワークとダイヤルアップ接続(N)]→本製品の[ローカルエリア接続]アイコンを順に操作します。



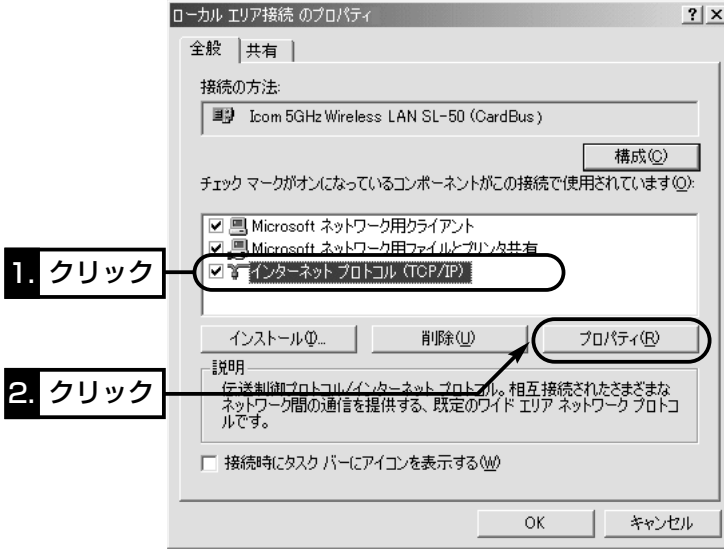
4. 〈プロパティ(P)〉 をクリックします。



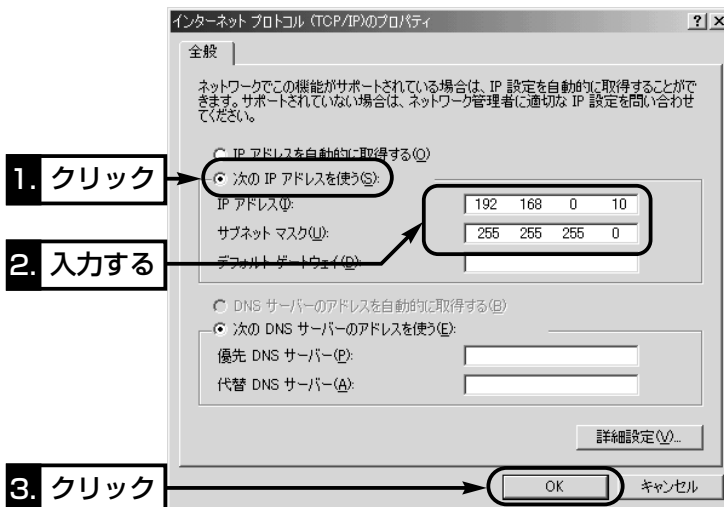
2 パソコン同士で無線通信する

2-2 Windows2000の場合(■ IPアドレスを設定する)つづき

5.[インターネットプロトコル (TCP/IP)]→〈プロパティ(R)〉の順にクリックします。



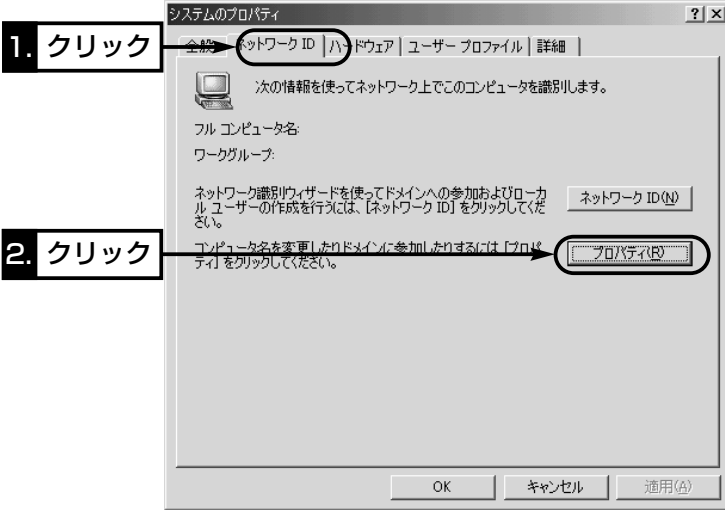
6.[次のIPアドレスを使う(S)]のラジオボタンをクリックするとチェックマークが入りますので、[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力してから、〈OK〉をクリックします。



■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定

【設定の手順】

1. デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
2. [ネットワークID]タブ→〈プロパティ(R)〉の順番にクリックします。

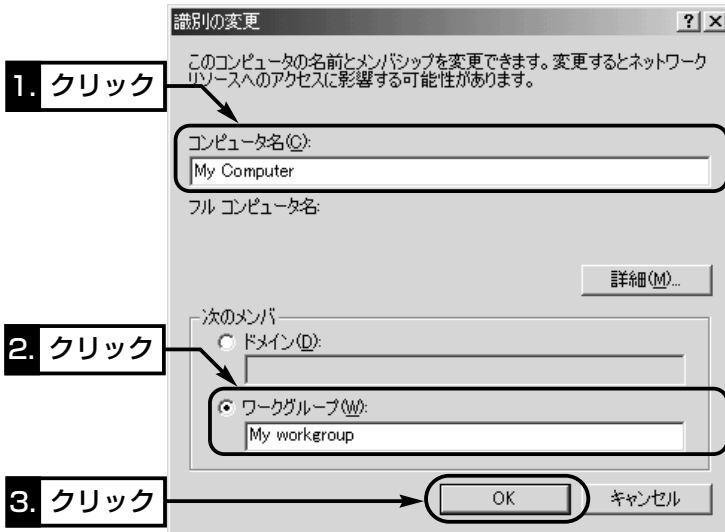


2 パソコン同士で無線通信する

2-2 Windows2000の場合

■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定(つづき)

- 3.[コンピュータ名(C):]、[ワークグループ(W):]のテキストボックスに情報を入力してから、〈OK〉をクリックします。



- 4.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。

■「共有フォルダー」の設定

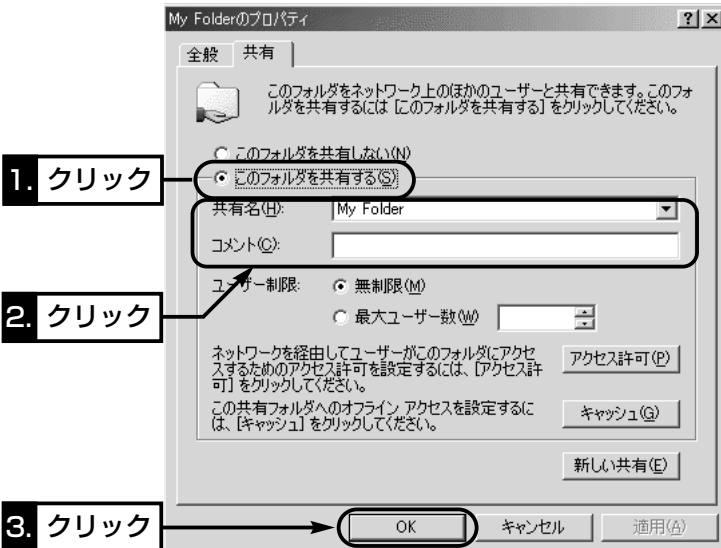
パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

【設定の手順】

1. デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。
2. 共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたメニューから[共有(H)]をクリックします。



3. [このフォルダを共有する(S)]のラジオボタンをクリックして、[共有名(H):]、[コメント(C):]などを確認または変更して、〈OK〉をクリックします。



2 パソコン同士で無線通信する

2-2 Windows2000の場合(■「共有フォルダー」の設定)つづき

4.設定したフォルダーのアイコンが、画面のように変化したことを確認します。



■「ユーザー登録」の設定

共有ファイルへのアクセスを許可するためには、ログオンするための「ユーザー名」と「パスワード」を設定しておく必要がありますので、その手順について説明します。

【設定の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]の順番に操作します。
2. 「コントロールパネル」画面の[ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。
3. 〈追加(D)〉をクリックします。



4. 「新しいユーザーの追加」画面で[ユーザー名(U)]を設定して、〈次へ(N)〉をクリックします。
5. [パスワード(P)]と[パスワードの確認入力(C)]を設定して、〈次へ(N)〉をクリックします。
6. ユーザーに許可するアクセス権を指定して、〈完了〉をクリックすると、登録が完了です。

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する

同じ無線ワークグループに所属するほかのパソコンのアイコンが表示されることを確認する手順を説明します。

■ Windows XPの場合

【確認の手順】

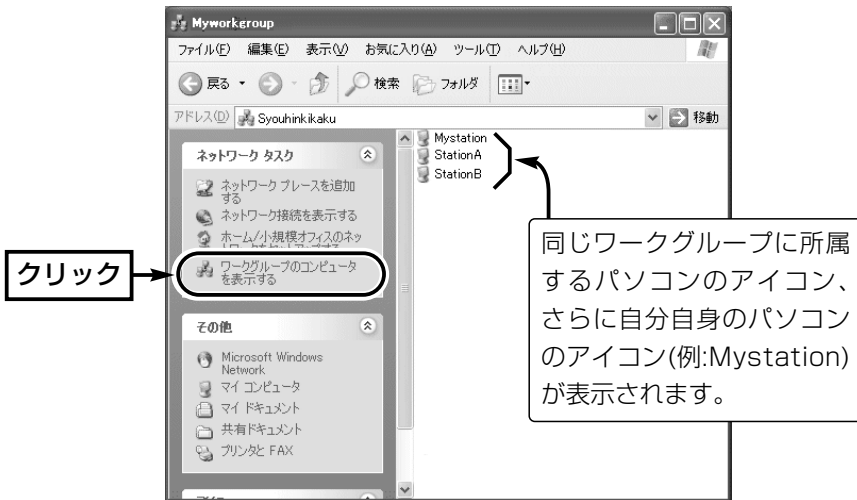
1. パソコンを起動します。
 - 「ログオン」画面を表示します。
2. マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。
3. コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
4. [ネットワーク接続]アイコンをクリックします。



5. [その他]の項目から、[マイネットワーク]をクリックします。



- 6.[ネットワーク タスク]の項目から、[ワークグループのコンピュータを表示する]をクリックします。



- 7.上記画面で表示されているパソコンのアイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダーが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】

無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。

この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

3 ご参考に

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する(つづき)

■ Windows 98SE/Meの場合

【確認の手順】

1. デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ](Windows Meの場合：マイネットワーク)アイコンをダブルクリックします。
2. 同じワークグループに所属するパソコンのアイコン、さらに自分自身のパソコンのアイコン(例:My station)が「ネットワークコンピュータ」画面に表示されていることを確認します。

表示されていれば、ネットワークへの接続は正常です。



3. 表示されている[コンピュータ]アイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダーが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】

無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。

この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

■ Windows2000の場合

【確認の手順】

1. デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
2. 同じワークグループに所属するパソコンのアイコン、さらに自分自身のパソコンのアイコン(例:My station)が「ネットワークコンピュータ」画面に表示されていることを確認します。
表示されていれば、ネットワークへの接続は正常です。



3. 表示されている[コンピュータ]アイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】

無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。

この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

3 ご参考に

3-2 トラブルシューティング

本製品について、おもなトラブルの対処方法を説明しています。

■ ドライバー/設定ユーティリティーをWindows XP/Windows2000にインストールできない

〈原因〉 OSを管理者(administrator)権限でログオンしていない

〈対策〉 OSを管理者のユーザー名でログオンしなおす

■ 本製品をPCカードスロットに装着してもランプが点灯しない

〈原因〉 PCカードアダプターが機能していない

〈対策〉 取扱説明書の2-3章を参考にPCカードアダプターが正常に動作していることを確認する

〈原因〉 本製品のドライバーが正しくインストールされていない

〈対策〉 取扱説明書の7-4章を参考に「ドライバーのインストール状態」を確認する

■ ドライバーが正しくインストールできない

〈原因〉 デバイスマネージャの画面で「Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」のアイコンに「!」や「×」マークがついていたり、「?その他のデバイス」という項目に「Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」が表示されている

〈対策〉 「■ ドライバーの再インストールについて」(取扱説明書☞7-4章)の説明を参考に、ドライバーを再インストールする

■ 無線アクセスポイントと通信できない

〈原因〉 無線アクセスポイントからパソコンのIPアドレスを取得できていない

〈対策〉 無線アクセスポイントの電源が入った状態で、本製品が装着されたパソコンを起動する

〈原因〉 無線アクセスポイントのDHCPサーバ機能が無効に設定されている

〈対策〉 無線アクセスポイントのDHCPサーバ機能を有効に設定する

〈原因〉 無線LANカードのIPアドレスを固定に変更している

〈対策〉 無線LANカードのIPアドレスを「自動的に取得」に設定する

〈原因〉 本製品の無線通信モードを間違えて設定している

〈対策〉 無線通信モードを「インフラストラクチャ」に設定する

〈原因〉 SSIDの設定が無線アクセスポイント側と異なる

〈対策〉 無線アクセスポイント側と同じSSIDを設定する

■ 無線アクセスポイントと通信できない(つづき)

〈原因〉無線アクセスポイント側でMACアドレスセキュリティーが設定されている

〈対策〉無線アクセスポイント側に本製品のMACアドレスを登録する

※本製品のMACアドレスは、設定ユーティリティーの[通信状況]タブに表示されます。

〈原因〉無線アクセスポイント側で、WEPセキュリティーまたはAESセキュリティーが設定されている

〈対策〉無線アクセスポイント側のセキュリティーを一時的に無効にして通信を確認する

■ パソコン同士で無線通信できない

〈原因〉無線LANカードのIPアドレスを「自動的に取得」に設定している

〈対策〉取扱説明書の6-2章「【IPアドレスの指定について】」を参考に無線LANカードのIPアドレスを固定で割り当てる

〈原因〉本製品の無線通信モードを間違えて設定している

〈対策〉無線通信モードを「アドホック」に設定する

〈原因〉チャンネルの設定が通信するほかのパソコンと異なる

〈対策〉通信するほかのパソコンとチャンネルの設定を同じにする

〈原因〉SSIDの設定が通信するほかのパソコンと異なる

〈対策〉通信するほかのパソコンとSSIDの設定を同じにする

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。